



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社ミルボン

上場取引所 東

コード番号 4919 URL <http://www.milbon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 龍二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 村井 正浩

TEL 03-3517-3915

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

2019年8月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年12月期第2四半期 | 17,242 | 6.1 | 3,089 | 3.8 | 2,824 | 2.8 | 1,999 | 6.4 |
| 2018年12月期第2四半期 | 16,247 | | 2,975 | | 2,746 | | 2,137 | |

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 1,900百万円 (14.8%) 2018年12月期第2四半期 2,230百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年12月期第2四半期 | 61.07 | |
| 2018年12月期第2四半期 | 65.28 | |

(注)

1. 2019年12月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)を早期適用しております。なお、原則的な取扱いに従って、新たな会計方針を過去の期間のすべてに遡及適用しております。

2. 当社は2017年12月期より決算期を12月20日から12月31日に変更しております。また連結決算に際し、海外子会社については決算期を9月30日から12月31日に変更しております。これに伴い、2018年度第2四半期連結累計期間(2018年1月1日～2018年6月30日)と比較対象となる2017年度第2四半期連結累計期間(2016年12月21日～2017年6月20日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年12月期第2四半期 | 39,092 | 34,067 | 87.1 |
| 2018年12月期 | 39,634 | 33,151 | 83.6 |

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 34,067百万円 2018年12月期 33,151百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年12月期 | | 24.00 | | 30.00 | 54.00 |
| 2019年12月期 | | 27.00 | | | |
| 2019年12月期(予想) | | | | 27.00 | 54.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 36,600 | 8.0 | 6,840 | 9.3 | 6,190 | 6.5 | 4,350 | 3.2 | 132.86 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 対前期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及適用を行ったため、遡及適用後の数値との比較によるものです。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年12月期2Q | 33,117,234 株 | 2018年12月期 | 33,117,234 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年12月期2Q | 377,954 株 | 2018年12月期 | 377,460 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年12月期2Q | 32,739,519 株 | 2018年12月期2Q | 32,740,216 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、輸出や生産に弱さもみられました。海外経済についてもおおむね回復基調にあるものの、先行きについては、米中貿易摩擦の長期化や欧州の政治情勢の影響が懸念されます。美容業界におきましては、人口動態の影響によって、人材の採用から定着までが課題となっており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、美容室に対して『人が育ち定着する“人材育成定着サロン創り”を支援し、女性の生涯美容を叶えるビューティパートナー育成を通じた、「ライフタイムビューティーサロン」を創造することで、NEXT100を推進します』をテーマに取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、172億42百万円（前年同期比6.1%増）となりました。この主な要因は、ヘアケア用剤部門においては、「オーデュア」が新製品効果もあり伸長したことと、グローバル市場向け“milbon”が海外を含めて窓口づくりが順調に進むなど、好調に推移したことによるものです。さらに、染毛剤部門では、一昨年発売したファッションカラー「オルディープアディクシー」が引き続き大きく伸長したことによるものです。

営業利益は30億89百万円（同3.8%増）、経常利益は28億24百万円（同2.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億99百万円（同6.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が減益となっている主な要因は、前第1四半期に政策保有株式等の売却による投資有価証券売却益3億5百万円を計上したことによるものです。

なお、第1四半期連結会計期間より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日）を適用しております。また、収益認識に関する会計基準等の適用については、収益認識に関する会計基準第84項に定める原則的な取扱いに従って、新たな会計方針を過去の期間のすべてに遡及適用しております。

部門別売上高及び国内海外別売上高は次のとおりです。

(連結部門別売上高)

(単位：百万円)

| 部門 | 前第2四半期連結累計期間 | | 当第2四半期連結累計期間 | | 増減額 | 増減率(%) |
|--------------|--------------|--------|--------------|--------|-----|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | | |
| ヘアケア用剤 | 9,615 | 59.2 | 9,897 | 57.4 | 281 | 2.9 |
| 染毛剤 | 5,735 | 35.3 | 6,423 | 37.2 | 687 | 12.0 |
| パーマメントウェーブ用剤 | 797 | 4.9 | 770 | 4.5 | △26 | △3.4 |
| 化粧品 | — | — | 47 | 0.3 | 47 | — |
| その他 | 98 | 0.6 | 103 | 0.6 | 5 | 5.1 |
| 合計 | 16,247 | 100.0 | 17,242 | 100.0 | 995 | 6.1 |

(国内海外別売上高)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 | | 当第2四半期連結累計期間 | | 増減額 | 増減率(%) |
|-------|--------------|--------|--------------|--------|-----|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | | |
| 国内売上高 | 13,632 | 83.9 | 14,383 | 83.4 | 751 | 5.5 |
| 海外売上高 | 2,614 | 16.1 | 2,859 | 16.6 | 244 | 9.3 |
| 合計 | 16,247 | 100.0 | 17,242 | 100.0 | 995 | 6.1 |

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して5億42百万円減少の390億92百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して8億30百万円減少の180億円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が20億1百万円減少し、商品及び製品が10億98百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して2億88百万円増加の210億91百万円となりました。主な変動要因はミルボンUSAの事務所移転に伴う内装工事代金の支払いなど建設仮勘定が1億37百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して14億14百万円減少の49億31百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等が7億68百万円、未払金が1億11百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して44百万円減少の93百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末と比較して9億15百万円増加の340億67百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が10億17百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の83.6%から87.1%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の1,012円58銭から1,040円58銭となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については遡及適用後の前連結会計年度末の数値と比較を行っております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べて30億2百万円減少し、65億38百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億20百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益28億17百万円の計上、減価償却費7億14百万円、たな卸資産の増加額12億20百万円、法人税等の支払額14億94百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は20億89百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7億6百万円、無形固定資産の取得による支出2億30百万円と定期預金の預入による支出10億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9億83百万円となりました。これは主に株主さまへの配当金支払額9億80百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想(2019年2月13日発表)からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,778,129 | 7,776,299 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,875,865 | 3,852,859 |
| 商品及び製品 | 3,643,382 | 4,741,843 |
| 仕掛品 | 39,687 | 28,527 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,140,083 | 1,215,250 |
| その他 | 410,547 | 431,353 |
| 貸倒引当金 | △56,335 | △45,518 |
| 流動資産合計 | 18,831,359 | 18,000,616 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 6,651,355 | 6,571,051 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,107,722 | 2,144,985 |
| 土地 | 5,028,467 | 5,031,470 |
| 建設仮勘定 | 13,830 | 151,011 |
| その他(純額) | 540,072 | 578,932 |
| 有形固定資産合計 | 14,341,447 | 14,477,452 |
| 無形固定資産 | 987,821 | 1,064,314 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,147,992 | 4,088,660 |
| 繰延税金資産 | 324,909 | 301,105 |
| その他 | 1,049,684 | 1,218,677 |
| 貸倒引当金 | △48,272 | △58,381 |
| 投資その他の資産合計 | 5,474,314 | 5,550,062 |
| 固定資産合計 | 20,803,583 | 21,091,829 |
| 資産合計 | 39,634,942 | 39,092,445 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 865,878 | 871,534 |
| 未払金 | 2,376,675 | 2,264,827 |
| 未払法人税等 | 1,585,720 | 816,726 |
| 賞与引当金 | 419,922 | 377,551 |
| その他 | 1,097,287 | 600,676 |
| 流動負債合計 | 6,345,484 | 4,931,316 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 57,243 | 14,042 |
| その他 | 80,417 | 79,400 |
| 固定負債合計 | 137,660 | 93,443 |
| 負債合計 | 6,483,145 | 5,024,759 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,000,000 | 2,000,000 |
| 資本剰余金 | 200,613 | 200,613 |
| 利益剰余金 | 30,614,693 | 31,631,818 |
| 自己株式 | △558,811 | △561,292 |
| 株主資本合計 | 32,256,496 | 33,271,139 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 859,702 | 810,908 |
| 為替換算調整勘定 | 264,024 | 185,846 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △228,425 | △200,208 |
| その他の包括利益累計額合計 | 895,301 | 796,546 |
| 純資産合計 | 33,151,797 | 34,067,685 |
| 負債純資産合計 | 39,634,942 | 39,092,445 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 16,247,291 | 17,242,829 |
| 売上原価 | 5,423,952 | 5,746,806 |
| 売上総利益 | 10,823,339 | 11,496,022 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,847,989 | 8,406,961 |
| 営業利益 | 2,975,349 | 3,089,061 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,323 | 7,019 |
| 受取配当金 | 20,975 | 31,969 |
| 社宅負担金 | 29,892 | 11,621 |
| 保険解約差益 | 3,255 | — |
| 補助金収入 | 50,528 | — |
| その他 | 9,738 | 29,134 |
| 営業外収益合計 | 117,714 | 79,744 |
| 営業外費用 | | |
| 持分法による投資損失 | 103 | 20,381 |
| 売上割引 | 296,658 | 304,866 |
| 為替差損 | 49,496 | 18,788 |
| その他 | 84 | 28 |
| 営業外費用合計 | 346,342 | 344,065 |
| 経常利益 | 2,746,720 | 2,824,740 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 47 | 799 |
| 有価証券売却益 | 305,980 | — |
| 特別利益合計 | 306,028 | 799 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 3,506 |
| 固定資産除却損 | 1,245 | 5,003 |
| 特別損失合計 | 1,245 | 8,509 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,051,503 | 2,817,031 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,019,872 | 785,168 |
| 法人税等調整額 | △105,520 | 32,543 |
| 法人税等合計 | 914,351 | 817,712 |
| 四半期純利益 | 2,137,151 | 1,999,318 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,137,151 | 1,999,318 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,137,151 | 1,999,318 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 226,204 | △48,794 |
| 為替換算調整勘定 | △124,626 | △78,177 |
| 退職給付に係る調整額 | △8,663 | 28,217 |
| その他の包括利益合計 | 92,915 | △98,754 |
| 四半期包括利益 | 2,230,066 | 1,900,563 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,230,066 | 1,900,563 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,051,503 | 2,817,031 |
| 減価償却費 | 670,262 | 714,778 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △16,950 | △638 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 35,840 | △41,685 |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少) | △261,429 | △27,271 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △15,431 | 44,495 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 2,537 | △45,379 |
| 受取利息及び受取配当金 | △24,299 | △38,989 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 103 | 20,381 |
| 為替差損益 (△は益) | 15,870 | △5,968 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △305,980 | - |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △47 | 2,706 |
| 固定資産除却損 | 1,245 | 5,003 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,287,331 | 20,773 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △939,465 | △1,220,209 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △120,660 | 7,107 |
| その他 | △178,812 | △674,174 |
| 小計 | 3,201,616 | 1,577,961 |
| 利息及び配当金の受取額 | 24,270 | 37,054 |
| 法人税等の支払額 | △730,545 | △1,494,549 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,495,341 | 120,465 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △626,386 | △706,762 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 84 | 1,429 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △241,930 | △230,984 |
| 貸付けによる支出 | △2,010 | △149,340 |
| 貸付金の回収による収入 | 2,818 | 1,475 |
| 定期預金の預入による支出 | △139 | △1,000,358 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 471,395 | - |
| 差入保証金の差入による支出 | △8,627 | △63,778 |
| 差入保証金の回収による収入 | 11,365 | 58,907 |
| 保険積立金の解約による収入 | 6,589 | - |
| その他 | △9,722 | △442 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △396,565 | △2,089,854 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の純増減額 (△は増加) | △3,191 | △2,481 |
| 配当金の支払額 | △850,320 | △980,590 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △853,512 | △983,071 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △42,500 | △50,477 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,202,763 | △3,002,937 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,928,017 | 9,541,483 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,130,781 | 6,538,546 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)が2018年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識に関する会計基準等を早期適用しております。

当社は顧客との契約における対価に変動対価が含まれている場合には、変動対価に関する不確実性がその後に解消される際に、認識した収益の累計額の重大な戻入が生じない可能性が非常に高い範囲でのみ、取引価格に含めております。そのため、従来は販売管理費として計上していたリベートを売上高から控除し、また販売実績に応じて得意先に無償で交付する製商品に係る費用を売上原価に加算しております。

収益認識に関する会計基準等の適用については、収益認識に関する会計基準第84項に定める原則的な取扱いに従って、新たな会計方針を過去の期間のすべてに遡及適用しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の「売上高」は5億55百万円、「売上総利益」は9億29百万円それぞれ減少しておりますが、「営業利益」「経常利益」「税金等調整前四半期純利益」及び「四半期純利益」に与える影響はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは化粧品の製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。